

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからもご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

ファインケミカルジャパン 2021

—新製品・新素材開発のための
次世代科学技術展—

主催 インフォーママーケットツジャパン
後援 日本化学会
会期 4月14日(水)10時~16日(金)17時
会場 東京ビッグサイト 西ホール(江東区有明3-11-1 東京国際展示場西展示棟1F)
[交通] 最寄り駅:りんかい線「国際展示場」駅、または、ゆりかもめ線「東京ビッグサイト」駅
参加申込締切 4月16日(金)まで
オンライン展示会同時開催
参加費 WEB事前登録制、会費無料
参加申込方法 WEB事前登録:HP (https://www.informa-japan.com/cphifc/form/visitor_regist.php?_ga=2.83431958.1817920619.1611717948-1113690941.1579064303) より
申込先・問合せ 101-0044 1-8-3 Kaji, Chiyoda, Tokyo, 101-0044 Japan, Kanda91 bldg インフォーママーケットツジャパン(株) 山田幹雄 電話(03)5296-1020 FAX(03)5296-1018 E-mail: MIKIO.YAMADA@INFORMA.COM <https://www.finechemicals-japan.com/>

R&D 懇話会 215 回

カーボンニュートラル(1) 二酸化炭素利用の現状と今後

主催 日本化学会
会期 4月20日(火)17時~19時
実施方法 オンラインセミナー (Zoom)
参加申込締切 4月19日(月)12時
菅内閣総理大臣は10月26日(月)に開会した臨時国会の所信表明演説で、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。R&D懇話会では、化学の視点からカーボンニュートラルについて考えるべく、本年4~6月にカーボンニュートラル関連の講演会を開催することとしました。その第一弾として、関連部会の立ち上げに深く携わってこられた早稲田大学 関根 泰 先生にご講演いただくことになりました。本講演では、カーボンニュートラルに資する二酸化炭素利用技術の現状と今後について、関根先生のお考えも含めてご講演いただけます。皆様にご参加いただき、活発な議論がなされることを期待します。
グリーン・イノベーションとカーボンニュートラル、二酸化炭素利用の現状と今後(早大理工) 関根 泰
参加費 R&D懇話会会員・同人会会員6,000円(R&D懇話会無料参加券が利用可能)、日本化学会会員(個人・法人)7,000円、一般8,000円
参加申込方法 HP (<https://rd215.peatix.com/view>) より
申込先・問合せ 101-8307 千代田区神田駿河台1-5 公益社団法人日本化学会 高塚・河瀬 電話(03)3292-6163 E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

第8回慶應有機化学 若手シンポジウム

主催 慶應有機化学若手シンポジウム実行委員会
協賛 日本化学会
会期 5月8日(土)12時30分~18時
実施方法 オンライン開催(web会場:Zoom)
参加申込締切 4月30日(金)
1. 天然物から広がる有機合成化学 ~全合成から創薬まで(北里大薬) 大多和正樹
2. がんが普遍的に過剰生産するアクロレイン代謝物:生組織でのカスケード反応によるがん診断・治療への応用(東工大物質理工) アンバラ プラディプタ
3. 有機化合物の分子運動に立脚した機能性材料開発(東北大多元研) 武田貴志
4. 安定分子の脱離を駆動力とする結合形成反応の開発(慶大理工) 齊藤巧泰
5. 酸素酸化を活用した二量体型アルカロイドの収束的合成戦略の開発(東北大院薬) 植田浩史
6. 非天然型糖タンパク質を合成し天然型糖鎖の機能を探る(阪大院理) 岡本 亮
7. 遷移金属アニオン種の触媒機能(東大院工) 岩崎孝紀
8. 分子キラリティによる電流/スピン流変換機能の創出(京大院工) 須田理行
参加費 無料
参加申込方法 下記HPに記載
申込先・問合せ 223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部応用化学科 小椋章弘 電話(045)566-1546 E-mail: ogura@appc.keio.ac.jp <https://www.appc.keio.ac.jp/~y-miura/KOS/index.html>

21-1 超分子研究会 スマート機能性 ソフトマテリアル材料

主催 高分子学会超分子研究会
協賛 日本化学会
会期 5月14日(金)13時~16時
実施方法 オンライン開催
参加申込締切 5月7日(金)12時
参加費 企業5,500円、大学・官公庁3,300円、学生1,100円(税込)
参加申込方法 HP (<https://member.spsj.or.jp/event/>) より
申込先・問合せ 104-0042 中央区入船3-10-9 新富町ビル 公益社団法人高分子学会超分子研究会係 電話(03)5540-3771 FAX(03)5540-3737 E-mail: resg1@spsj.or.jp

第32回記念万有仙台 シンポジウム

—有機化学の進む道
—広範な有機化学研究領域の今と将来展望—
主催 万有仙台シンポジウム組織委員会
後援 日本化学会
会期 5月15日(土)12時20分~18時
実施方法 オンライン
参加申込締切 4月14日(水)

1. イオン性分子触媒の創製:高難度分子変換の実現を目指して(名大トランスフォーマティブ生命分子研) 大松亨介
2. 低酸化数13族元素分子が持つ特異な結合・構造・反応性(名大院工) 山下 誠
3. 天然物合成の進む道 ~全合成と実践的合成(徳島大院医歯薬) 難波康祐
4. 希土類触媒で切り拓く新しい有機合成化学(理研環境資源科学研究センター) 侯 召民
5. 酵素を使った天然物合成の新展開(北大院理) 及川英秋
※ポスターセッションも開催します。
参加費 無料
参加申込方法 下記HPよりお申し込み下さい。
申込先・問合せ 980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 東北大学大学院農学研究所第32回万有仙台シンポジウム事務局 桑原重文、榎本 賢 電話(022)757-4438 FAX(022)757-4435 E-mail: sendai_banyu2021@grp.tohoku.ac.jp <https://www.msdlife-science-foundation.or.jp/category/symp/sendai>

塗料講演会

—自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向—

主催 色材協会関東支部
協賛 日本化学会
会期 5月21日(金)
実施方法 オンライン開催 (Zoom を利用したリアルタイム配信)
参加申込締切 定員(80名)になり次第
1. 大変革期に向かう自動車塗料の動向について(ダイハツ工業) 神澤敬彰
2. 高彩度・高コントラストカラーを実現する自動車塗料の適用開発(日産自動車) 鈴木達也
3. 製缶塗料技術の異形部品への応用展開(トヨーケム) 尾田勝幸
4. 気象環境と車内装部品が曝される温度湿度環境の関係性解明(本田技研工業) 福田猛
5. メタリック顔料の基礎と最新技術動向(東洋アルミニウム) 中尾貴之
6. Durr 製マスキングレス塗装アプリケーション EcoPaint Jet の御紹介(デュルジャパン) 佐藤文勇
全6講
参加費 会員(協賛学協会会員共)20,000円、会員外33,000円
参加申込方法 申込書に所定の事項を明記してFAXまたはE-mailにてお送り下さい。
申込先・問合せ 150-0013 渋谷区恵比寿3-12-8 一般社団法人色材協会 事務局 電話(03)3443-2811 FAX(03)3443-3699 E-mail: admin@jscm.or.jp <http://www.shikizai.org/>

上手い、易い、速い! LC 及び LC/MS 分析効率化の 方法について

主催 日本分析化学会液体クロマトグラフ
イー研究懇話会

協賛 日本化学会

会期 5月27日(木)13時~17時

実施方法 オンライン例会(Zoomウェビナー)

参加申込締切 5月20日(木)

講演主題概説(オーガナイザー)(フマキラー) 嶋口 翔

1. 今すぐ出来るHPLCの高速化(アジレント・テクノロジー) 熊谷浩樹

2. LCを用いる分取精製のコツと効率化(東ソー) 伊藤誠治

3. 明日からできるLC, LC/MSにおける再現性向上と時短テク(日本分光) 寺田明孝

4. Deep Learningによるピーク検出がもたらすLC/MSデータ処理の効率化(島津製作所) 岡本真美

5. タンパク質分析を容易にしたいカラム技術開発(信和化工) 小林宏資

6. 迅速な分析がもたらすメリット・デメリット(東レリサーチ) 竹澤正明

7. 総括: LC及びLC/MS分析効率化の方法(東理大) 中村 洋

参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC会員・協賛学会会員・その他の別および情報交換会参加の有無を明記の上、お申し込み下さい。参加費の納入が確認できた方には、4月16日(金)以降に、(1)例会サイト入場URLと(2)「視聴者用操作マニュアル」をお知らせします。また、情報交換会参加費納入者には、(3)情報交換会サイト入場URLをお知らせいたします。

参加費 3,000円

懇親会 オンライン懇親会

参加申込方法 オンライン申込み

申込先・問合せ先 141-0031 品川区西五反田1-26-2 五反田ハイツ304号(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 電話(03)3490-3351 FAX(03)3490-3572 E-mail: sho-shimaguchi@fumakilla.co.jp https://forms.gle/yWCoNUo65qL23enT8

第27回化学安全講習会

主催 日本化学会近畿支部

会期 6月1日(火)10時~2日(水)16時30分

会場 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4)[交通] Osaka Metro 四つ橋線「本町」駅下車25番・28番出口を北へ約5分、または同御堂筋線「本町」駅下車2番出口を西北へ約10分

参加申込締切 5月13日(木)

第1日目 1日(火)

1. 化学物質の発火・爆発危険性について(産総研) 松永猛裕

2. 世界の化学品規制の潮流 ~アジア(中・韓・台)・日本・欧州・米国を中心に(住化分析セ) 林 まき子

3. アクリル酸プラント事故の再発防止の取り組み(日本触媒) 齊藤 群

第2日目 2日(水)

4. 事故事例から考える実験室・作業場の安全管理(阪大安全衛生管理部) 山本 仁

5. 実験室・作業場における化学物質のリスクアセスメント(阪大安全衛生管理部) 山本 仁

6. 実験で紹介する静電気安全対策の基礎(SL経営) 蒲池正之介

参加費 日本化学会会員・協賛団体 32,000

円、大学官公庁所属 20,000円、学生 8,000円、非会員 42,000円

参加申込方法 下記HPからお申し込み下さい。

申込先・問合せ先 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 日本化学会近畿支部 電話(06)6441-5531 E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/anzen21.html

日本膜学会第43年会

主催 日本膜学会

共催 日本化学会

会期 6月4日(金)、5日(土)

会場 早稲田大学121号館(研究開発センター)現地開催およびオンライン開催を併用したハイブリッド方式(状況によって、オンライン開催に変更する場合がございます)(新宿区早稲田鶴巻町513)[交通]東京メトロ東西線「早稲田」駅から徒歩5分

参加申込締切 事前参加申込締切は5月28日(金)、以後は当日参加扱いになります。

日本膜学会第43年会を下記の要領で早稲田大学にて開催いたします。今回は昨年度と同様に、6月上旬の開催となります。内容は、例年どおり人工膜、生体膜、ならびに境界領域と、膜学の広範囲な内容を含む年会を企画しております。基礎から応用まで膜の科学、技術に関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。詳細は膜学会HP(<http://maku-jp.org/>)にてお知らせいたします。

参加費 第1次事前参加登録(入金支払締切日5月6日(木)):主催・協賛学会員8,000円、非会員25,000円、学生5,000円、法人(5名まで参加可、法人会員の企業様に限りです。事前割引はありません)30,000円、第2次事前参加登録(入金支払締切日5月28日(金)):主催・協賛学会員9,000円、非会員26,000円、学生6,000円、法人(5名まで参加可、法人会員の企業様に限りです)30,000円

懇親会 開催なし

参加申込方法 下記の日本膜学会HP第43年会事前参加登録フォームからご登録下さい。

申込先・問合せ先 113-0033 文京区本郷5-26-5-702 日本膜学会事務局 担当 渡部 E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp http://www.maku-jp.org/symposium/

第47回有機金属化学セミナー

—講習会:ものづくりに使える触媒反応—

主催 近畿化学協会有機金属部会

協賛 日本化学会近畿支部

会期 6月8日(火)9時15分~17時20分

実施方法 オンライン(Zoomウェビナー)

参加申込締切 5月12日(水)

1. 遷移金属錯体触媒反応を理解するための基礎知識(阪府大院理) 大橋理人

2. 有機典型金属反応剤の活用と触媒的不斉合成反応への展開:P-キラルホスフィン配位子の合成と不斉水素化への応用を中心に(千葉大名大/北大) 今本恒雄

3. クロスカップリング反応(京大院工) 藤原哲晶

4. C-H官能基化(阪市大院理) 西村貴洋

5. オレフィンメタセシス反応(阪府大院理) 神川 憲

6. 遷移金属触媒反応を活用する機能性有機材料の合成(関西学院大院理) 畠山琢次

参加費 協賛団体会員 10,000円、大学官公庁所属会員・近畿化学協会有機金属部会法人会員 7,500円、一般 15,000円、学生 2,500円

交流会 17時30分~19時。会費無料、先着80名まで

参加申込方法 HP(<https://kinka.or.jp/form/view.php?id=12124>)よりお申し込み後、参加費を銀行振込(三井住友銀行備後町支店普通預金No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)または郵便振替(00930-5-64179 一般社団法人近畿化学協会)にて送金下さい。申込締切日までにキャンセルのご連絡がない場合、参加費はお返しいたしません。

申込先・問合せ先 550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 近畿化学協会有機金属部会 電話(06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: om@kinka.or.jp https://kinka.or.jp/om/

第42回光化学若手の会

主催 第42回光化学若手の会実行委員会

共催 日本化学会

会期 6月11日(金)、12日(土)

実施方法 オンライン開催

参加申込締切 5月7日(金)

主題 光化学全般(有機・無機光化学、光機能分子・材料、光触媒、イメージング、分光、理論など)

発表形式 講師による講演、学生ポスター発表。優秀ポスター発表者にはポスター発表賞を授与いたします。

講師 山田容子(奈良先端科技大)、小林厚志(北大)、相良剛光(東工大)、五月女光(阪大)、西 弘泰(東大)、花岡健二郎(東大)、平田修造(電通大)

参加費 無料

参加申込方法 下記第42回光化学若手の会HPよりお申し込み下さい。

申込先・問合せ先 171-8501 豊島区西池袋3-34-1 立教大学理学部化学科 森本正和 電話/FAX(03)3985-4695 E-mail: mmorimoto@rikkyo.ac.jp https://www2.rikkyo.ac.jp/web/haganola/photochemistrywakate2021/index.html

第10回JACI/GSCシンポジウム

—ダイナミック・ケイパビリティ
変化する社会へ—新化学の挑戦—

主催 新化学技術推進協会

後援 日本化学会

会期 6月28日(月)9時30分~29日(火)17時30分

実施方法 オンライン開催

参加申込締切 6月25日(金)

公益社団法人新化学技術推進協会は、持続可能な発展に向けた化学技術イノベーションの推進を目的として毎年JACI/GSCシンポジウムを開催しています。第10回シンポジウムでは、化学分野を超え幅広い分野からの講

演等を通じて、化学が不確実な未来を切り拓くための進むべき方向性を提示します。

講演者 石村和彦(産総研), 小林喜光(日本化学会/三菱ケミカルホールディングス), 澤田道隆(マテリアル戦略有識者会議/花王), 時田隆仁(富士通), 伊藤 肇(北大), 光島重徳(横国大), 山元公寿(東工大), 黒田一幸(早大), 伊藤元重(東大名誉/学習院大), 菊澤研宗(慶大)

参加費 JACI 会員・大学・官公庁・後援団体会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生 2,000 円

参加申込方法 JACI/GSC シンポジウム HP (<http://jaci-gsc.com/10th/>) より申込み

申込先・問合せ先 102-0075 千代田区三番町 2 三番町 KS ビル 2F 公益社団法人新化学技術推進協会 電話(03)6272-6880 FAX(03)5211-5920 E-mail: jaci-gsc10@jaci-gsc.com <http://www.jaci.or.jp>

高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業

主催 研究実験施設・環境安全教育研究会 (REHSE)

共催 日本化学会

会期 7月1日(木)~3月31日(木)

会場 研究活動は各高校, 3月の成果発表会は東京大学(文京区本郷7-3-1) [交通] 地下鉄丸ノ内線「本郷三丁目」駅より徒歩10分, 地下鉄千代田線「根津」駅より徒歩10分等 (詳細は東京大学 HP を参照)

参加申込締切 6月19日(土)

高校生・高等専門学校(3年生まで)が, 環境安全やリスクに関連のある研究テーマを決め, 調査・研究を行い, 報告書としてまとめる活動を支援するとともに, 口頭発表および大学等の施設見学をする機会を提供します。具体的な支援として, 研究活動費の支給, 専門家による研究活動への助言, 3月に

東京大学で開催される成果発表会(口頭発表)や研究施設見学会への招待などをいたします。詳しくは下記 REHSE HP の「高校生の自主研究活動支援」をご覧ください。

参加費 無料

参加申込方法 下記 HP の「高校生の自主研究活動支援」のページに, 参加申込書のフォーマットがありますので, それらに必要事項を記入して E-mail にてお申し込み下さい。審査後に採択の結果についてご連絡いたします。

申込先・問合せ先 277-8563 柏市柏の葉 5-1-5 環境棟 468 号室 東京大学大島教授室内 NPO 法人 REHSE 高校生自主研究活動支援事業事務局 電話(080)4383-2007 E-mail: koukousei@rehse2007.com <https://rehse2007.com/>

“講演会・講習会”欄／“研究発表会—発表募集”欄への投稿について

①掲載対象

①「講演会・講習会」欄, 「発表募集」欄に掲載する行事は, 日本化学会の本部, 支部, 部会, 研究会が, 主催, 共催, 協賛, 後援するものに限りません。

②掲載は, 当会の主催を除き, 事前に共催・協賛・後援依頼申請後, 許諾認可番号を受けたものが対象となります。許諾認可番号のない行事の原稿は掲載できませんのでご注意ください。

③「化学と工業」誌「行事一覧」は, 日本化学会ホームページ・イベントカレンダーに掲載されます。

②掲載欄

①掲載は, 「講演会・講習会」欄または「発表募集」欄のどちらか1回に限りません。両方への掲載はできません。

②「講演会・講習会」欄に掲載する内容は, 「主催者側からの依頼による講演などが中心の行事」の参加募集です。

③「発表募集」欄に掲載する内容は「一般応募による講演などが中心の行事」の発表募集です。

③参加登録費

原則として日本化学会個人会員が主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できることが化工誌への掲載条件です。参加費の設定が複数ある場合には, 別に本会会員の参加費を明記して下さい。例: ○○学会会員 10,000 円, 日本化学会会員 10,000 円, 共催団体 15,000 円, 非会員 20,000 円

④原稿締切日と掲載月

①原稿締切日は, 毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。

②掲載月以降に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの「連絡事項」欄に明記して下さい。

⑤原稿作成と投稿方法

①原稿は専用投稿フォーマットを使用して作成して下さい。

②制限字数は 900 字です。900 字以内であれば掲載料は無料ですが, 超過した場合には超過分 900 字につき 17,000 円の有料掲載となります。

③専用フォーマット使用方法

A) フォーマットに記載されている項目以外に項目が必要な場合は, 「記事内容」欄の中で表記して下さい。

B) 数字, 英文字は半角で入力して下さい。

C) 機種に依存する文字の注意: 機種に依存したり, インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

・半角カナ; カナ, 記号(約物); ,。[(/ 等

・ローマ数字; I II III IV, 丸数字; ①②③④

【使用可能な文字例】

・全角カナ, 全角記号, アルファベットの I, V, X, Y を組み合わせさせてローマ数字を表現。

・文字の代わりに (1) (2) の表記を使用。

・組文字は全角(株)(有)mm での表記にする。

D) テキスト上で表現できない文字(外字, 作字)については使用を避けて下さい。なお, 人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で印し, 受理メール(受付番号付)に●印の指示を行い送って下さい。その際, 投稿フォーマットの「連絡事項」に必ずその旨を表記して下さい。

E) 文書中で書式指定(上付き, 下付き, イタリック体)を希望の場合は, タグ付け(HTML 形式)をして下さい。

【見本】・上付; $P^{2+} \rightarrow P ²$

・下付; $CO_2 \rightarrow CO ₂$

・イタリック; $italic \rightarrow <I> italic </I>$

④原稿の作成が完了しましたら, 画面下の送信内容確認ボタンをクリックすると別ウィンドが開きます。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後, 原稿の校正はありませんので間違えないよう作成して下さい。

⑤電子投稿完了後, 自動的に受理通知メールを発信元宛に返信します。受理メールにて, 受付番号, 掲載予定号並びに投稿原稿内容が確認できます。受理通知が届かない場合は, 正常に原稿が受理されていない場合がありますので, 必ず受理通知をご確認下さい。

⑥投稿原稿は, 編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑥送信後に大幅な訂正が生じた場合

①当月 25 日まで; URL フォーマットの「連絡事項」欄に先に受け取った原稿受理通知番号, 先の送信日付及び原稿差替えの旨を表記し再度送信して下さい。その際, E-mail にて三美印刷宛の旨をご通知下さい。

②26 日以降は原則として訂正はできません。

⑦問合せ

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部

電話(03)5843-3580 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp

【投稿・請求に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局 電話(03)3292-6165